

今後の取組方針も明らかにしていきます

現行市政改革を着実に推進

数値目標の達成

スピード感

改革目標の
検証

経費削減プロジェクトチーム
による徹底的な取組

平成21・22年度の事務事業の見直し
検討項目を今秋までにとりまとめ公表

新たな改革
目標を策定

先を見据えた新たな改革目標を策定します

中期的な財政収支見通

→ 現行市政改革期間(18年度から5年間)
 ← 新たな行財政改革計画

(億円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
単年度 収支不足額	0	0	0	▲ 168	▲ 305	▲ 269	▲ 184	▲ 110	54
累積 収支不足額	0	0	0	▲ 168	▲ 473	▲ 742	▲ 926	▲ 1,036	▲ 982

財務リスク
(安倍野再開発事業)
の負担がピーク!

平成22年度までに目標数値2,250億円削減を達成しても・・・

平成23年度以降
約1,000億円の
収支不足

次なる行財政改革計画 を策定します

- ・市債の満期時の償還に備え、今後も総務省のルール通り確実に、公債償還基金に積み立てます
- ・未利用地などの売却や未収金対策を徹底し、歳入確保に努めます
- ・人件費カットも含めた歳出削減のためのあらゆる手立てを講じます

健全化法4指標の試算(18決)は基準をクリア

	早期健全化基準 〔自主的な改善努力による 財政健全化〕	財政再生基準 〔国等の関与による再生〕	大阪市の場合の試算 〔18年度決算ベース〕
実質赤字比率 (一般会計等ベース)	11.25%以上	20%以上	黒字
連結実質赤字比率 (全会計ベース)	16.25%以上	30%以上	黒字
実質公債費比率 (特別会計を含めた実質的公債費)	25%以上	35%以上	12% ^{※1}
将来負担比率 (3セク等も含めた実質的負債)	400%以上		330%程度 ^{※2}

※1 新たに公債費の控除財源となる「都市計画税」を反映。これに伴い従来の算定よりも5～6ポイント程度指標が改善(都市計画税反映前は17.5%)

※2 未反映部分について(今後の好転要素)

- ・宅地造成事業の販売用土地の時価評価が未算定のため、土地売却代を控除せずに「宅地造成事業債の全額」を将来負担額に計上
- ・3セク等への損失補償債務は、経営評価が未確定のため、算入率を考慮せずに「債務の全額」を将来負担額に計上

高い格付けを落としません

AA+

日本格付研究所(20段階評価の上から2番目)

(格付定義)AA格は、債務履行の確実性は非常に高い

AA-

スタンダード&プアーズ(20段階評価の上から4番目)

(格付定義)AA格は、債務を履行する能力は非常に高く、最上位の格付け「AAA」との差は小さい

Aa1

ムーディーズ(自国通貨建)(21段階評価の上から2番目)

(格付定義)Aa格は、信用力が高く、信用リスクが極めて低いと判断される債務に対する格付け

格付け事由

- ・ 税収基盤が厚く、大阪市内の経済状況は回復傾向にあること
- ・ 行財政改革の取り組みとその成果が上がっていること
- ・ 経常経費を抑制すべく継続した歳出見直しなど、今後の動向を注視

そして、大阪が変わります

投資家の皆様へ

- ・大阪市債を安心してご購入ください
責任を持って最優先でお返す
ことを確約します
- ・今後も積極的にIRを行い、大阪市債
の評価向上に向けて取り組みます

行財政改革

市政改革基本方針の
取り組み

民間活力の活用

大阪市資産の流動化
PFIの導入

創造的な都市の実現

知的人材の集積
先端技術の集積
多様な文化の集積

都心部の活性化

緊急整備地域内の
開発誘導

平松ビジョン

重点施策・事業の展開(今秋公表予定)



大阪市長 平松邦夫

(資料のお問合せ)

大阪市財政局財務部資金担当

TEL: 06-6208-7730~2

FAX: 06-6202-6952

E-mail: da0005@city.osaka.lg.jp

(大阪市ホームページ)

<http://www.city.osaka.jp/>

(財政状況・市債について)

大阪市財政局ホームページ <http://www.zaisei.city.osaka.jp/>

(市政改革について)

大阪市市政改革室ホームページ

<http://www.city.osaka.jp/shiseikaikakushitsu/index.html>